



北緑丘小学校だより

ふたば

令和7年度(2025年度)第6号

豊中市立北緑丘小学校

令和7年(2025年)10月1日

## つながる学校

- 自分で考え、判断する力を持つ子ども
- 自分で目標に向かって、努力を続ける子ども
- ちがいを認め合い、相手の立場を尊重し、仲間とつながりあえる子ども

### 後期がはじまります

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉もありますが、朝夕めっきり涼しくなってきました。校門のそばの萩の花(「くつつき虫」ですね)が可愛らしく咲き、虫の音が響いてきます。

北緑丘小学校においても前期が終わり、今週末には「のびゆくこども」が配られます。しっかり前期を振り返り、後期はどんなところをがんばっていくのかご家庭でも話し合ってほしいと思います。

いよいよ来週からは運動会練習も始まります。運動場や体育館で元気な姿が見られることと思います。気温の変化が激しくなっているため、体調を崩さないように普段の生活を過ごすようにしてください。



### 共生体育への取り組み ポッチャ

9月18日(木)5時間目、人権教育を目的とした研究授業がありました。体育科で「共生体育」がテーマです。内容は3年生でポッチャというゲームです。当日は講師として横浜国立大学の梅澤秋久教授にもお越しくださいました。(共生体育については学校だよりNo.4にも触れているのでそちらもご覧ください。)

ポッチャはジャックボール(白)に赤・青の2チームがどれだけ近づけて投げることができるかを競い合うゲームです。注目すべきことは、「アダプテーションルール」というものです。1つのゲームが終わった後、一方的な点差がついたときにより互いが同じ点数になるように特別ルールを使うことを話し合います。その結果、次のゲームはどちらが勝つかギリギリのスリリングを味わうことができるゲームにすることができました。

このように互いに認め合い、相手のことを思いやりながら楽しめるのが「共生体育」です。

得意な子も苦手な子も互いに認め合いながら取り組める体育。これから多様性を生きていく時代に「共に学び、共に育つ」という人権感覚を大切にしていきたいと感じています。



### 敬老の集い

9月27日(土)本校体育館で校区福祉委員会主催のもと、敬老の集いが行われました。暑さ対策のため日程を大幅に遅らせました。また完成したクーラーも試運転で快適な温度でおこなうことができました。

本校では6年生が前日会場設営をしてくれ、2年生が出演してくれました。ほかに、第十四中の吹奏楽、のぼたけこども園のダンス、その他地域の方のシャンソン、ウクレレ・カントリーミュージックもありました。



最後のプログラム2年生が会場に入ってくると会場の皆さんもリズムに合わせて拍手をして大喜びでした。

普段の音楽で学習している歌を披露してくれました。「ドレミの歌」は誰でも知っている曲ですが「2年生バージョン」ということで少し歌詞を変えて歌いました。ご年配の方も嬉しそうにしている姿が印象的でした。次の「BINGO」は手拍子のリズムも入って会場は大盛り上がりでした。会場から大きな声で「ありがとう!」と声がかかったのが印象的でした。

最後に2年生からご年配の方々にお花のプレゼントをした後、会場全員で「ふるさと」を歌いました。2年生も「ふるさと」をこの日のために一生懸命練習してきました。

どうかいついつまでもお元気で過ごしてほしいと思います。